

事業評価シート

番号 0660050 - 001

【1.基本情報】

事業名	アートライブ・ウエルカム！アーティスト				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	アートライブ・ウエルカム！ アーティスト実行委員会
実施期間	平成29年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化芸術指針	

【2.事業概要】

事業の目的	子どもたちが文化芸術を体感できる機会の充実と文化芸術を担う人材の育成を図る。	
事業の内容	小学校には、芸術に掛ける思いを伝えることができる地元で活躍する芸術家を、中学校には、岐阜市出身・ゆかりの全国的あるいは世界的に活躍する芸術家を派遣し、パフォーマンスを交えながら、文化芸術に対する情熱を語り伝える。	
事業の対象	何を	アーティストの発表の場及び児童・生徒との交流
	誰に (対象者・対象者数)	市内の小中学生
	どのくらい (具体的な数値で)	市内の小学校47校、中学校24校を3年間で一巡する。
令和元年度 (実施内容)	落語家、ダンサー、シンガーソングライターなどを講師に迎え、小学校16校、中学校7校で開催。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	476	15	317	10	204	6
嘱託職員	82	8	206	20	416	40
アルバイト	0		0		0	
計(A)	558	23	523	30	620	46

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		2,378	2,193	2,200
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	2,378	2,193	2,200
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		2,378	2,193	2,200

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,936	2,716	2,820

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	2,936	2,716	2,820

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市内の小・中学生	市内の小・中学生	市内の小・中学生
受益者数	7,907	7,376	7,465
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	371	368	378

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	発表の場	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	23	24	24
実績値	23	24	23

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	実施校数	単位	校
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	23	24	24
実績値	23	24	23

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市文化芸術指針を策定する際に行った市民意識調査において「子どもたちが文化芸術を体感できる機会が必要」との結果が出ており、市民・社会のニーズに合っている。 市内の小・中学生を対象に実施するとともに、地元アーティストの活躍の場を拡充する側面もあるため、市が実施するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	約7000人以上の小中学生の受益者があり、子どもたちが文化芸術を体感できる機会を創出しており、効果は高い。 市内の小・中学校を通じて、学校が希望し依頼した地元アーティストの協力のもと、多くの小中学生へ文化芸術が提供されており、効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	学校からのアンケート結果においても大変好評であり、生徒の感想からも文化芸術に触れアーティストの考えなどを聞くことで新しい発見を得られるなど、満足度も高いため、期待した効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	3年で全小中学校を一巡して、全ての小中学生が一回は受講できるようにしているが、内容によっては、一部の学年となるため、受講できない場合もある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	平成28年度に実施した岐阜市文化芸術に関する市民意識調査において市が取り組むべき重要な施策として子どもたちが体験できる機会や次世代への継承などが挙げられている。その中で、本事業は学校、生徒から好評であり、未来への投資と考えられるとともに、今後岐阜の文化芸術を担うアーティストの育成にもなるため、現状を維持すべきである。

事業評価シート

番号 0660050 - 002

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(市民芸術祭)				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市民芸術祭実行委員会
実施期間	昭和63 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化芸術指針	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市で活躍する芸術文化団体または個人の優れた活動及び伝統芸能を多くの市民が鑑賞できる機会を作り、岐阜市の芸術文化の高揚を図る。				
事業の内容	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門ごとに、市内の舞台芸術団体または個人が公演を企画、実施する。				
事業の対象	何を	岐阜市民芸術祭			
	誰に (対象者・対象者数)	参加者(出演者及び入場者)			
	どのくらい (具体的 数値で)	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門			
令和元年度 (実施内容)	邦楽、邦舞、洋楽、洋舞、演劇の5部門において、市民の力によって創造する舞台芸術の祭典として、実施。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	95	3	102	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	95	3	102	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		7,389	6,389	6,389
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	7,389	6,389	6,389
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		7,389	6,389	6,389

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	7,484	6,484	6,491

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	7,484	6,484	6,491

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	6,557	6,328	5,806
受益者負担額(千円)	12,429	15,082	12,389
受益者負担率(%)	166.1%	232.6%	190.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,141	1,025	1,118

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公演日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	31	31	31
実績値	28	31	32

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6,000	6,000	6,000
実績値	5,901	5,641	5,320

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	舞台芸術活動を創造することによって市の文化芸術の振興を図ることを目的としており、毎年5,000人以上が鑑賞し、鑑賞機会の提供に貢献している。 市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図ることを目的としており、岐阜市の文化芸術の振興のため、市が担うべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	約6,000人の受益者があり、多くの発表及び鑑賞の機会を創出しており、費用対効果は高い。 市民の舞台活動の発表の場であり、市民が主体となって舞台芸術の創作を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	アーティストの舞台芸術発表の場を多く創出することができており、市民が身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、取り組めるような環境づくりにも寄与している。また、演劇においては、聴覚障がい者が楽しめるようにウェアラブル端末を導入するなど鑑賞機会を充実させている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	各部会の参加者負担金及びチケット収入が収入の約2/3を占めており、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	様々な舞台芸術を創出し、鑑賞する機会を提供する本事業は、市民の文化芸術の振興に寄与し、岐阜市文化芸術指針に合致する事業であり、現状を維持すべきである。

事業評価シート

番号 0660050 - 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(美術展覧会)				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市美術展覧会実行委員会
実施期間	昭和23年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化芸術指針	

【2.事業概要】

事業の目的	美術を愛好する市民に広く発表の機会と場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通して市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てる。				
事業の内容	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門について、作品を公募・審査して、優秀作品を展示し、表彰する。				
事業の対象	何を	岐阜市美術展覧会			
	誰に (対象者・対象者数)	参加者(応募者及び入場者)			
	どのくらい (具体的 数値で)	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門			
令和元年度 (実施内容)	10月5日～13日に「岐阜市文化センター」を会場にして、展覧会を開催。展覧会の初日と最終日には作品解説を行った。最終日前日には表彰式を実施を予定していたが、台風のため、急遽最終日に実施。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	95	3	102	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	95	3	102	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		6,649	7,400	5,536
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目				
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		6,649	7,400	5,536

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,744	7,495	5,638

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	6,744	7,495	5,638

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	6,000	9,867	3,952
受益者負担額(千円)	950	764	719
受益者負担率(%)	14.1%	10.2%	12.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,124	760	1,427

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	応募人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	470	470	470
実績値	489	450	410

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	5,000	10,000	5,000
実績値	3,960	9,417	3,542

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	70回を超える事業であり、多くの来場者に鑑賞してもらい、美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てており、必要性がある。 発表の場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通じて、市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てることを目的としており、公共性があり市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民の発表の場として適切な出品料を徴収する一方、入場料を無料とすることで多くの方に鑑賞できる機会を提供できており、費用対効果が高い。 市民協働で、企画運営しており、更にボランティアを募集し活動している。また、作品の中には広域からの応募もあり、様々な芸術作品を鑑賞できる機会を創出している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	多くの来場者に鑑賞できる機会を提供し、岐阜市美術展覧会を周知することができ、高い効果を得られた。 また、市美展を目的に来場していない利用者も鑑賞できており、新たな作品への出会いを創出できた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市は出品料を2,000円としているが、岐阜県美術館のぎふ美術展も同額であり、さらに他市においては、1,000円や無料であることから、市民から広く作品を募集する本事業においては、適正であると考えられる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	本市の文化芸術を推進する基幹事業であり、日本画や書など様々な市民の文化芸術の発表の場の創出及び鑑賞の場の提供に貢献している。

事業評価シート

番号 0660050 004

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(文芸祭)				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市文芸祭実行委員会
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化芸術指針	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図る。				
事業の内容	一般の部では、短編小説、児童文学、現代詩、歌謡、短歌、俳句、川柳、連句、狂俳の9ジャンルについて、小・中学生の部では、創作、詩、短歌、俳句、川柳の5ジャンルについて、広く市民から公募し、優秀作品を展示するとともに作品集を出版している。				
事業の対象	何を	岐阜市文芸祭			
	誰に (対象者・対象者数)	参加者(応募者及び入場者)			
	どのくらい (具体的 数値で)	一般の部9ジャンル、小・中学生の部5ジャンル			
令和元年度 (実施内容)	「一般の部」の展示会を11月19日～23日に開催し、最終日に表彰式及び講評会を実施。「第16回小・中学生の部」の展示会を2月11日～16日に開催し、最終日に表彰式を実施。また、一般及び小・中学生の部それぞれの作品集を出版。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	95	3	95	3	102	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	95	3	95	3	102	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,703	1,703	1,703
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	1,703	1,703	1,703
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,703	1,703	1,703

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,798	1,798	1,805

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,798	1,798	1,805

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	9,489	10,117	8,604
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	189	178	210

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	応募人数		単位 人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6,000	6,000	6,000
実績値	5,989	7,317	6,004

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧者数		単位 人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	3,500	2,800	2,600

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	昭和40年から続く事業で毎年多くの応募があり、市民の中に浸透し、文芸創作活動の意欲を高めている。 市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上に貢献するとともに、岐阜市の文化芸術の振興を図ることを目的としており、公共性があり市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	出品料を無料にすることで平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えており、入場料が無料だからこそ多くの来場者が作品に触れることができるため、費用対効果を高めている。 審査員には、各ジャンルの先生に協力いただき、市民協働で開催している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えるとともに文芸を発表する場を提供できている。また、小・中学生の部を実施することにより未来を担う子どもたちが文芸に触れる機会の提供に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	一般の部、小・中学生の部があり、幅広く応募できる環境が整えられており、文芸に気軽に触れ多くの参加を促すには現状が適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上・岐阜市の文化芸術の振興を図ることができている。また、未来を担う子どもたちが文芸に触れられる機会の提供に寄与しており、岐阜市文化芸術指針に合致する必要な事業であり、現状を維持すべきである。

事業評価シート

番号 0660050 005

【1.基本情報】

事業名	長良川薪能				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	長良川薪能実行委員会
実施期間	平成元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化芸術指針	

【2.事業概要】

事業の目的	優れた芸術を鑑賞することにより、市民の芸術文化に対する関心を高め、市民とともに文化創造の活性化を図る。				
事業の内容	清流長良川と金華山・岐阜城を背景に、河原に舞台を作り、鶯舟のかがり火から火入れを行う全国で唯一の薪能。毎年一流の演者により演じられる。				
事業の対象	何を	薪能			
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	2回			
令和元年度 (実施内容)	8月5日に講演演会を実施。また、8月30日に本番を開催。みなもと会による素謡、公募の子どもたち、桂会による連調、宝生流シテ方の玉井博祐氏による仕舞「松風」、宝生流シテ方の辰巳満次郎氏による仕舞「氷室」、和泉流狂言方の野村又三郎氏による狂言「人と馬」、宝生流シテ方の宝生和英氏による能「清経」を上演。本番は雨天のため、2年連続で市民会館へ変更した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	515	50	515	50	520	50
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,685	150	3,685	150	3,920	150

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		12,300	12,300	12,000
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	12,300	12,300	12,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		12,300	12,300	12,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,985	15,985	15,920

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	15,985	15,985	15,920

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	4,000	1,500	1,450
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,996	10,657	10,979

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	鑑賞機会	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観客数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	4,000	4,000	4,000
実績値	4,000	1,500(雨天による会場変更)	1,450(雨天による会場変更)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	長良川や金華山などの自然資産に加え、他市では真似のできない篝火を鵜舟からもらい受ける火入れを行うなど、豊富な歴史資産の中で伝統文化を鑑賞することにより市民にシビックプライドを再認識する機会を創出するとともに伝統文化への関心を高めている。 また、上記理由から魅力的な観光資源にもなっており市民・社会のニーズに合っている。 伝統文化の普及・発展のために、一流の能楽師や狂言師による舞台を観客が無料で鑑賞できる機会を提供するためには市が実施するのが妥当。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	一流の演者に出演していただき、岐阜の観光資源である自然資産の清流長良川、金華山や歴史資産を活用し、河川敷で実施するためには出演料と会場整備費が必要である。 今後は、クラウドファンディング等の活用など財源の在り方を検討する必要がある。 岐阜青年会議所の協力を得るとともに、ボランティアを活用し、市民協働で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	例年3,000人を超える市民及び観光客が来場しているため、大きな効果を得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	河川敷で入場料を徴すると、公平性の観点から堤防等から鑑賞できないようにする必要が出るため、より費用がかさむこととなり、公平に鑑賞するための現在の状況が適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善 (統合・縮小含む)	岐阜の観光資源である清流長良川、金華山、ライトアップされた岐阜城を背景に幽玄な世界の中で、市民と協働し作り上げている薪能は、県内外から多くの来場者が楽しみにする事業であり、観光にも寄与すると考えられるため今後も必要な事業である。 今後は、クラウドファンディング等の活用など財源の在り方を検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660050 - 006

【1.基本情報】

事業名	さんぽde野外ライブ				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	せせらぎの並木ミュージックコンサート実行委員会
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	誰もが気軽に音楽と触れ合う機会を提供するとともに、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」を中心とした文化によるにぎわい創出を図る。				
事業の内容	一般公募アーティストによるパフォーマンスや岐阜市出身、ゆかりのアーティストたちによるコンサートを開催する。				
事業の対象	何を	さんぽde野外ライブ			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	年1回			
令和元年度 (実施内容)	11月4日(月)に「さんぽde野外ライブ」と題し、みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなの広場カオカオ、柳ヶ瀬界隈の会場、計8ヶ所にて、一般公募アーティストライブを行った。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,170	100	3,400	100
嘱託職員	206	20	206	20	208	20
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,376	120	3,376	120	3,608	120

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		4,907	5,334	3,101
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	4,907	5,334	3,101
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		4,907	5,334	3,101

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	8,283	8,710	6,709

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金	200		
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	200	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	8,083	8,710	6,709

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	4,570	2,370	2,930
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,769	3,675	2,290

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加団体数	単位	団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	45	45	45
実績値	40	44	48

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,000	1,000	3,000
実績値	4,570	2,370	2,930

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の文化発表の場の創出を図っており、多数の応募団体があることから、必要性がある。 市民が様々なジャンルの音楽に触れる機会を創出することを目的としているため、市が実施する必要性がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	例年、多くの団体から応募があり、市民の文化発表の場として定着しつつあり、令和元年度は2,930人と多数の来場者がいることから、効果が高い。 当日は運営にボランティアの協力を得て、市民協働で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	健康部が主催する「健幸ウォーク」と連携し、ぎふメディアコスモス、金公園、柳ヶ瀬界隈のコースの一部で野外ライブを開催しており、中心市街地のにぎわいも創出している。市民の発表の場を提供するとともに、様々なジャンルの音楽に触れる機会を創出しており、有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	出演者を募集し、無料で発表の場を設けているため、誰もが気軽に参加することができる。また、野外で無料のライブを幅広い市民が鑑賞できるため、公平性も高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の文化発表の場の創出を図るとともに、様々なジャンルの音楽に触れる機会を提供する場として継続する。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の観点から会場などの見直しを検討する。

事業評価シート

番号 0660050 - 007

【1.基本情報】

事業名	文化会館施設整備				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和42 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化会館条例、岐阜市文化会館規則	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。				
事業の内容	文化会館(市民会館及び文化センター)の施設整備				
事業の対象	何を	改修工事			
	誰に (対象者・対象者数)	文化会館			
	どのくらい (具体的 数値で)	必要箇所			
令和元年度 (実施内容)	文化センターNo.2冷温水機分解整備改修工事:15,730千円、文化センター自動体外式除細動器(AED):176千円、文化センター平マット:632千円、文化センター防犯カメラ:473千円、市民会館大ホール音響改修工事:68,420千円、市民会館大ホール音響機器(備品):16,940千円、市民会館自動体外式除細動器(AED):176千円、市民会館ミラーボール318千円、市民会館プロジェクター:446千円				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	634	20	634	20	680	20
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	634	20	634	20	680	20

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	委託料	2,003	4,752	0
	工事請負費	129,866	136,501	84,150
	備品購入費	25,321	0	19,161
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		157,189	141,572	103,811

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	157,823	142,206	104,491

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	157,823	142,206	104,491

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	319,998	265,242	237,619
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	493	536	440

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	実施工事数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	4	5	2
実績値	4	6	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設利用者	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	319,998	265,242	237,619

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本市の芸術文化の拠点としての役割を維持するため、老朽化に伴い計画的に整備する必要がある。 市の所管施設であるため、市が実施すべき。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民の円滑な施設利用のため、必要最小限の工事を行っている。また、複数工事を同時期に施行することで会館の休館期間の短縮に努めている。 施設の老朽化や設備の機能低下のため、できるだけ効率的、計画的に修繕している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	老朽化はしているが、市民が安心・安全に施設を利用できるよう適切な修繕等を行っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	施設利用者に不便がないよう改修や備品購入を行っている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	両施設とも老朽化が進んでいることから、継続して修繕・改修を行っているのが現状である。中心市街地という好立地にある文化施設として今後は統合や大規模改修等を含め、施設整備のあり方を検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660050 - 008

【1.基本情報】

事業名	岐阜文化再発見事業～市民協働による民話ライブ～				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜文化再発見実行委員会
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財を会場として地域に伝わる民話を市民に紹介し、地域文化を再発見してもらう。				
事業の内容	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財において、市民との協働によりその地域にまつわる民話の朗読を、地元ゆかりのあるアーティストとのコラボレーションで開催する。				
事業の対象	何を	次代に残したい岐阜市にある伝統的建造物や文化財、あるいは地域に伝わる民話			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	民話ライブを8ヶ所で開催			
令和元年度 (実施内容)	民話ライブを年間8回 (萬松館、乙津寺、正法寺、伊奈波神社、浄音寺、クララザール、じゅうろくてつめいギャラリー他)にて開催 朗読講座受講者の有志による朗読勉強会(5団体参加)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	2,060	200	2,060	200	2,060	200
アルバイト	0		0		0	
計(A)	2,060	200	2,060	200	2,060	200

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,950	1,369	1,338
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	1,850	1,369	1,338
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,950	1,369	1,338

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	4,010	3,429	3,398

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	4,010	3,429	3,398

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	489	460	466
受益者負担額(千円)	320	0	250
受益者負担率(%)	8.0%	0.0%	7.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	8,200	7,454	7,292

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント回数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	8	8	8
実績値	8	8	8

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	応募者数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	600	600	600
実績値	489	563	522

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財を会場とするなど、普段行けないような場所での開催は、市民が岐阜の文化を再発見できる機会を提供しているため必要性が高い。 岐阜市の地域文化への理解を深めることを目的としているため、市が主体的に実施することが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	出演料や会場費がかかるが、伝統的な建物等を維持する為の協力費としての側面もあり、その場所では味わえない雰囲気を経験するためには妥当である。 岐阜市内の伝統的建造物や文化財を会場に使用し、岐阜市に伝わる民話の朗読を行うことから市が市民と協働で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市内に残る伝統的建造物で民話ライブを鑑賞することにより、岐阜に伝わる民話など地域文化を伝承している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	開催場所の収容人数により参加者に限りがあるが、年間8回開催することにより多くの応募者に参加の機会を提供できている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	多くの市民に地域文化を継承していく機会として、開催場所や内容を工夫しながら継続する。

事業評価シート

番号 0660050 - 009

【1.基本情報】

事業名	こよみのよぶね				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	市民参画と市民協働によるまちづくりの推進	政策コード	4 - 2 - 0 - 0		
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	こよみのよぶね実行委員会
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	本事業はNPO・市民・企業・市の協働によって実施され、市民主体の協働のまちづくりの推進に資する事業である。				
事業の内容	鵜飼大使でもある岐阜市出身のアーティスト日比野克彦氏の総合監修のもと、市民ボランティアによって制作された暦を表わす巨大な数字行灯を屋形船に載せ、冬至の日の夜に長良川に流す冬の風物詩と言える事業。				
事業の対象	何を	こよみのよぶねの行灯制作、イベント			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的数値で)	数字(暦)をモチーフとした行灯(1から12)12個と干支の行灯を制作。			
令和元年度 (実施内容)	岐卓の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、新しい冬の風物詩を創造することを目的として、幼稚園、小学校、高校、大学など県内各地でワークショップを行い、約2000人の市民の手で制作した。 12月22日 こよみのよぶね 開催 3月11日 とうほくこよみのよぶね 開催				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	101	10	101	10	101	10
アルバイト	0		0		0	
計(A)	101	10	101	10	101	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		500	500	500
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	500	500	500
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		500	500	500

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	601	601	601

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	601	601	601

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	3,500	3,000	2,000
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	172	200	301

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加団体数	単位	団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	13	13	13
実績値	15	13	13

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	当日参加人数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	3,500	3,000	2,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市内外の各市民団体によって1から12の数字と干支の行灯が手作りで制作されることから、協働のまちづくりという目的に合った活動である。 岐阜市の長良川で鶴飼観覧船を利用して開催され、岐阜市民を中心とした活動であることから、協働のまちづくりを推進する観点からも、市が支援する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市以外からも負担金や協賛金を集めて運営されており効率性が高い。 市民主体で開始した活動であるため市民グループと協働で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜県内外で制作された巨大数字行灯や制作に携わった方々が、イベント当日に岐阜市の長良川河畔、金華山の麓に集結し、約2,000人の人々が集まる岐阜市のイベント、冬の風物詩となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	こよみのよぶねの制作やワークショップ、当日のイベントは全て無料で誰でも参加できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜市の冬の風物詩として定着しており、市民主体の活動として支援しながら継続していく。

事業評価シート

番号 0660050 010

【1.基本情報】

事業名	ぎふ長良川勝手おどり				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいつづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	ぎふ長良川勝手おどり実行委員会
実施期間	平成7年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	地域の連帯感が薄れていく中で、多くの市民がそれぞれの踊りを発表し、踊り文化の振興を図る。	
事業の内容	自由な発想のおどりの普及、ぎふ信長まつりでのパレード参加。 勝手おどりフェスティバルを開催し、ステージにて発表の場を設ける。	
事業の対象	何を	ぎふ長良川勝手おどり(自由なおどり)
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	イベント2回
令和元年度 (実施内容)	10月5日に第63回ぎふ信長まつり市民勝手おどりパレードに出場。市民会館にて出発式を行い、10団体がパレードを実施。12月22日に文化センターにて勝手おどりフェスティバルを開催し、8団体がステージでの発表を行った。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	634	20	634	20	374	11
嘱託職員	206	20	206	20	208	20
アルバイト	0		0		0	
計(A)	840	40	840	40	582	31

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		350	350	350
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金	350	350	350
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		350	350	350

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,190	1,190	932

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,190	1,190	932

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	530	530	531
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,245	2,245	1,755

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント回数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加人数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	700	700	700
実績値	530	530	531

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	岐阜信長まつりの市民勝手パレードなど、市が発表の場を提供し、地域の賑わいの創出に貢献しており、公共性が高い。 岐阜信長まつりの市民勝手パレードでの活動を中心として、新しい自由なおどり文化を発信するとともに地域の活性化に寄与しているため、市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	500人を超える参加者があるとともに、信長まつりに参加することにより、効率的ににぎわいの創出に寄与している。 応募対象を市内に限らず、広域的に実施しているが、今後、フェスティバルの観覧者を増やすためPR方法を工夫し、踊りを楽しむ人を増やす方策を検討する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	イベントを2回開催することにより参加しやすい環境づくりを図っているが、より多くの参加者を集めるため、PR方法を工夫する必要がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費が無料であることから、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が参加できている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善	公募により多彩な踊りの団体が岐阜市に集まり、信長まつりににぎわいに貢献しているが、新しい団体や若手の踊り手を増やすため、地域の情報誌への掲載などPR方法を工夫する必要がある。

事業評価シート

番号 0660050 011

【1.基本情報】

事業名	団体育成補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	文化団体
実施期間	平成2 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市文化団体補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市の文化団体を支援することにより、市民の芸術鑑賞の機会を確保し、文化芸術の振興を図る。				
事業の内容	文化芸術の発展及び振興のための事業に係る経費、文化団体の広報活動に係る経費を補助する。				
事業の対象	何を	補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	市内の文化団体			
	どのくらい (具体的 数値で)	当該年度の予算の範囲で、補助対象経費の2分の1以内			
令和元年度 (実施内容)	公益社団法人岐阜県交響楽団、岐阜平和美術展実行委員会、岐阜県芸術文化会議、岐阜市芸術文化協会、小島信夫文学賞の会へ補助金を支出した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	159	5	159	5	170	5
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	159	5	159	5	170	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,248	1,308	1,308
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	補助金	1,248	1,308	1,308
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,248	1,308	1,308

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,407	1,467	1,478

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,407	1,467	1,478

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	文化団体	文化団体	文化団体
受益者数	5	5	5
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	281,300	293,300	295,600

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1,248	1,308	1,308
実績値	1,248	1,308	1,308

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	補助団体数	単位	団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	5	5	5
実績値	5	5	5

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	芸術文化の振興と普及を目的とする文化団体を支援することにより、広く市民への芸術文化の提供がされており、必要性がある。 岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与することを目的としている団体への補助であり、市が実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市の文化政策と連携した事業を実施する団体への補助であり、市民への芸術文化の提供のために効率的である。 文化団体を通じて、広く市民への芸術文化が提供されており、効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民に対して各団体による様々なジャンルの芸術文化の提供がされており、有効である。文化芸術団体と連携することで、市民の文化芸術活動を推進している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与することを目的としている様々な団体へ補助を行っており、市民が多様な芸術文化に触れる機会を拡充することができる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	各文化団体により、広く効率的に市民へ芸術文化の提供がされており、現状維持が望ましい。

事業評価シート

番号 0660050 - 012

【1.基本情報】

事業名	文化会館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	文化芸術課		
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	(一財)岐阜市公共ホール管理財団
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市文化会館条例、岐阜市文化会館規則	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。				
事業の内容	文化センター及び市民会館の運営管理及び文化芸術事業の実施				
事業の対象	何を	文化センター及び市民会館			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	年間約27万人			
令和元年度 (実施内容)	文化センター及び市民会館の運営管理及び文化芸術事業の実施				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	634	20	634	20	680	20
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	634	20	634	20	680	20

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		334,402	334,402	337,499
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	指定管理料	334,402	334,402	337,499
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		334,402	334,402	337,499

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	335,036	335,036	338,179

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	85,280	80,494	76,173
その他	19,046	16,512	15,528
計(F)	104,326	97,006	91,701

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	230,710	238,030	246,478

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	319,998	265,242	237,619
受益者負担額(千円)	104,326	97,006	91,701
受益者負担率(%)	31.1%	29.0%	27.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	721	897	1,037

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	施設利用者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	319,998	265,242	237,619

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	稼働率	単位	%
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	60	60	60
実績値	60.30	57.85	53.45

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るために、鑑賞型事業、市民参画創造型事業、普及・育成事業の事業を効果的に実施しており、地域文化の拠点施設としての役割を果たしている。 貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動をコーディネートする機能を有する施設として市が設置している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設利用者数は両館で毎年約30万人の利用、稼働率は平均して約60%と比較的高いが、指定管理料や老朽化に伴う施設整備費等に対して使用料等の収入が少ない。 文化芸術事業や活動をコーディネートするノウハウを有する指定管理者が運営を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	いずれも中心市街地という好立地に位置し、様々なシーンに対応できる施設機能を有することから(文化センター:小劇場500席、催し広場2,000席、市民会館:大ホール1,501席)、練習室や会議室などの稼働率も高く、市民の文化の拠点として高い効果を得ている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	使用料等に関しては、周りの施設の状況を踏まえ、引き続き検討する必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	中心市街地にある、2つの文化施設の優位性を活かし、文化団体の利用はもとより、地域のにぎわいの観点からも利用促進を図っている。両施設とも老朽化が進んでいることから、今後は統合や大規模改修等を含め、施設のあり方を検討する必要がある。